

平成 29 年度佐久市総合計画審議会 第 2 部会（第 3 回） 会議録

日時：平成 29 年 10 月 10 日（火）

午前 10 時～

場所：佐久市役所 402 会議室

【出席者】相馬部会長、渡辺副部会長、秋山委員、柳沢委員、木鋪委員、松井委員、吉澤委員、丸山委員

【事務局】土屋企画課長、若林課長補佐、中村、大井（実）

1 開 会

2 議 事

（1）第一次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について

事務局	<p>審議の視点としては、各施策の目標の最終評価に対する「結果の分析」の妥当性について意見をいただくとともに、行政の継続の視点から、第二次佐久市総合計画前期基本計画の目標値である市民満足度を上昇させるためには「どのような取組が必要か」といった意見をいただきたいと思います。</p> <p>また、審議時間の関係から、未達成のものを中心にご意見をいただければと思います。</p> <p>それでは、説明をさせていただきます。</p>
事務局	<p>【資料 1 - 2】</p> <p>第 3 章 100 万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出</p> <p>「農業」（P 7）について説明</p>
部会長	<p>ここまでの説明で、質問等がありますか。</p>
委員	<p>4 つ目の目標「農畜産物産出額」が、統計調査が平成 18 年度以降実施されていないため【評価不能】との評価になっています。一方で、第二次総合計画の 94 ページに「農業産出額」の推移のグラフが載っていますが、この「農業産出額」も施策目標ということによろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>第一次総合計画では、農業の施策に係る目標の 1 つとして、農畜産物産出額を設定しました。第二次総合計画では、農畜産物産出額ではなく、市民アンケートによる満足度指数を目標として設定しています。</p> <p>第二次総合計画に記載の「農業産出額」の推移のグラフについては、あくまでも農業分野の現状を理解していただくための資料として掲載したものであって、目標ではありません。</p>

	<p>第一次総合計画で掲げた目標は、施策全体というよりも、個々の事業に係る目標が多く、仮に当該目標を達成したとしても、施策全体が良くなったのかどうか分かりづらいとの審議会のご指摘もあり、第二次総合計画では、どういった目標を設定することが適当であるかを考え、市民満足度を目標値として採用させていただきました。</p>
部会長	<p>第二次総合計画での目標は、資料右下の満足度指数【3.11】で、資料上段の目標は、第一次で用いた尺度ですね。</p>
事務局	<p>はい。資料上では、第一次総合計画、第二次総合計画のそれぞれの目標と一緒に記載させていただいております。これは、第一次総合計画の期間は既に昨年度で終了していますので、行政の継続性の視点から、第一次総合計画の取組を第二次総合計画につなげ、今後さらに市民満足度を向上させるために、ご意見をいただきたいと思い、このような形態としております。</p>
委員	<p>第一次総合計画の策定段階（平成24年度）で平成18年度の数値を用いることについて、5年も古い数値ですので、何を目標に設定するのが妥当か、考えるべき点もあるかと思えます。</p>
委員	<p>市における農地の集約化はどのくらい進んでいますか。</p>
事務局	<p>農地の集約化は、平成27年度から実施している事業でございます。平成27年度実績が11.5ha、平成28年度が12.3ha、今年度8月までの実績で4.1ha。累積ですと27.9haです。</p>
委員	<p>学校給食応援団の活動状況、地元食材の使用率について教えてください。</p>
事務局	<p>浅科・望月は平成26年4月から、臼田が平成27年6月、平成28年7月から佐久地域が追加され、現在、全ての地域をカバーしています。</p> <p>学校給食応援団事業での地元食材の使用率について、平成28年度の望月地区が17.5%、浅科地区が27.0%、臼田地区が14.6%です。佐久地域は南部センターが16.5%、北部センターが13.4%となっています。地域の規模が大きくなると、食材のカバー率も低下する傾向が読み取れます。</p>
委員	<p>荒廃農地を活用してもらえようような施策に取り組んでいただくよう、是非ともお願いします。地域の特徴や良さを生かした農業を推進していただきたい</p>

	<p>いと思います。</p>
委員	<p>「農業振興」と言うだけなら簡単ですが、実際は難しい。地域の事情や、個々の農家の担い手等の問題もあります。同じ年に同じものを作っても、価格が安くなったり、天候で生産量が落ちたり、労力と成果が一致しないことが多々あります。</p> <p>学校給食は、おそらく入札制度だと思いますが、例えば米ですと、佐久の米は質がいいですが、入札となると価格の面で弱くなってしまいます。</p> <p>「農業振興」と「子供たちに食べてもらいたい」といった想いに差異が生じてしまうため、現場に沿った目標を立てていただければと思います。</p>
事務局	<p>いただいたご意見は、担当課に伝えさせていただき、より良い形を模索していければと思います。</p>
部会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、これまでの意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、続いて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「水産業」(P8/13) について説明</p>
委員	<p>鯉について、以前は年間10トン程度の生産がありました。減ってきています。養殖に対する技術や知識等が継承されていないからでしょうか。</p> <p>鮎は組合を組織し取組を進めてはいますが、手がかかるので、あまり取組が広がらない印象があります。</p> <p>シナノユキマスも、養殖するのが難しいと聞きます。</p>
事務局	<p>今年度から、市では鮎の生産拡大を目指し、水田鮎養殖技術研修を始めました。また、佐久鯉についても、刺身といった新しい食べ方等を模索するなど、消費拡大を推進しています。</p>
委員	<p>鯉や鮎は、育成から出荷まで長い年月がかかります。育成に手間がかかるため、成魚を外から持ってくる人が多いそうです。若い人は鯉を捌くこと</p>

	<p>ができないのも、普及が進まない理由の一つかもしれません。</p>
委員	<p>今の若い人たちは、鯉や鮒をほとんど食べませんね。</p>
委員	<p>鮒の生産は儲かるのでしょうか。</p>
委員	<p>鮒については、現状として生産者が減少しています。出荷作業においても、生きたまま夜中に袋詰めし、早朝に出荷するため、お手伝いがいないと難しく、生産規模は益々小さくなってしまいます。</p> <p>それでも時期になれば、鮒を食べたいという人は多いです。</p>
委員	<p>スーパー等でも、出ればすぐに完売しますね。</p>
委員	<p>生産者側に対する支援が重要だと思います。現場をよく見ていただき、的を絞った目標や施策を考えるべきです。</p>
委員	<p>今の子どもたちに食べてもらえるよう、お母さんたちのクラブ等でも何かできるといいのですが。</p>
委員	<p>第一次総合計画の策定時の値が年間 110t、目標として 115t を目指すとのことでしたが、実績が 80t。地域内での消費の減少や、生産自体が減少してきていることが要因なのでしょう。</p>
委員	<p>生産者の育成が図られ、出荷量を増やせばいいのですが。農業と同様に水産業にも援助が必要だと思います。</p>
事務局	<p>支援のあり方については、所管課と検討させていただきます。</p>
委員	<p>若い人たちに理解してもらえないと、水産業が行き詰ってしまうと思います。幼い時から鯉や鮒に親しんでもらい、理解してもらう必要があるのではないのでしょうか。</p>
部会長	<p>それではよろしいでしょうか。</p> <p>出された意見については、部会報告の中に意見として付記をお願いします。</p>

	(異議なし)
部会長	それでは、次の説明をお願いします。
事務局	「林業」(P9)について説明
委員	<p>世代交代の中で、私有林の境界が不明確になってしまっている実態があります。今後10年、20年と経てば、さらに分からなくなる。行政として、市民に対し、私有地の把握と整備を促していく必要があると思います。</p> <p>もう一つ、雇用を生み出す資源として、森林を生かすべきと考えます。林業の仕事は、春は植林、梅雨から夏は下刈り、秋から冬は除伐、間伐と一年を通して仕事ができます。森林からもたらされる山菜等は、高齢者でも収入の確保に繋がるものです。健康づくり、長寿の都市である佐久市に合ったものです。また、木材は建築材料や燃料、農業にも使えます。佐久市の特徴は自然を生かした地域づくりであり、これからの時代は、自然豊かな地域が選ばれると思います。そういった地域を市として目指していくべきではないでしょうか。</p>
事務局	ご意見として担当課に伝えさせていただきます。
委員	市でも松くい被害木処理は実施していますか。
事務局	毎年度予算計上をし、被害木処理を行っています。
委員	森林税もあるのですから、県から財源を引っ張ってきてでも取り組まなければ、アカマツがなくなってしまいます。
委員	空中散布も、人がいない地域ならばいいと思うのですが、やはり抵抗があるのでしょうか。
委員	虫ですけれども、これは感染症ですね。自分たちで防衛する必要もあるでしょう。
委員	林業について、今後は「林道の整備や森林施業の協同化・機械化を促進します」とありますが、山そのもの自体をどうしていきたいかということは考えているのでしょうか。山をどのように整備して、どうやって人に来てもら

	<p>うかという部分が弱いと感じました。</p>
事務局	<p>委員さんご指摘の取組の他にも、林業に関する取組を9ページ右下に記載させていただいています。全く方向性がないということではありません。</p>
部会長	<p>よろしいでしょうか。 出された意見については、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「商業・サービス業」(P10)について説明</p>
委員	<p>岩村田地区や野沢地区でも高齢化が進んでおり、これは長野県どこも似たような状況だと思います。岩村田地区では、中心市街地活性化基本計画に基づいた、中心市街地活性化委員会を立ち上げる取組が進んでいます。昭和40年から続く商店街は、防火や耐震性に問題が残る状況ですが、建替の方法等の問題もあります。今後まちづくり会社等も設立されるかと思いますが、収益事業ですので、行政にノウハウがなかったりもする。外部から人を呼んできて知恵を借りたりもするが、誰が中心となって担っていくかという問題があります。</p>
委員	<p>高齢化、後継者の問題が一番ネックであり、これはどの地域の商店街でも同じようです。国から無利子で借りても、返済は残る。年齢が上がるほど返済は厳しい。商店街の人達は何を考えるかという、子どもに教育をつけます。先祖代々やってきたお店を廃業して、子どもは子どもで暮らしてもらって、借金の無いうちに止めるというのが、今の商店街の考え方かと思います。</p>
委員	<p>若い方と話していると、インターネットを活用している飲食店なんかも相当流行っています。この目標「商品販売額」には大型店の売り上げも入っているのにも関わらず、実績値が伸び悩んでいますよね。実店舗ではなく、インターネットで買うお客さんも増えていきますし、インターネットで販売している方も増えていきます。物販でなく、サービスで付加価値を上げている人もいます。売上が落ちても、粗利が増える。IT化していく流れの中で、自分に</p>

	<p>合った商売で、食べていけるものを選んでいく必要があります。旧来の発想から変えていく必要があるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>時代にあった商売をしていかないと駄目であって、そのためには若い人たちの力がないと難しいと思います。</p>
部会長	<p>それではよろしいでしょうか。</p> <p>出された意見については、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。</p> <p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「観光」(P11)について説明</p>
委員	<p>観光について、それぞれの地域における方向性等はありますか。</p>
事務局	<p>市としては、「ないものねだり」ではなく、「あるものさがし」として、市が持つ優れた資源の掘り起こしを実施し、PRしています。</p> <p>今後、北陸新幹線による関東圏からの集客だけでなく、中部横断自動車道が開通されることで、東海圏からの集客も見込めると考えています。</p>
委員	<p>アクセス道路の整備なしには、地域の観光にはつながりません。観光地を結ぶ道路ネットワークの構築が重要です。観光バスも入れないような道路では、素晴らしい観光資源があっても意味がありません。</p>
事務局	<p>例えば内山牧場も、今はキャンプ地として名が上がってきておりますし、それを含めて施設整備をしていく必要があると考えています。</p>
委員	<p>長野県の観光客入込数は100万人を超えていますが、佐久市は観光に強みがありません。軽井沢や松本城といった観光名所がなく、また宿泊施設もあまりないですね。</p>
委員	<p>佐久市には「強烈なもの」がないという印象です。例えば志賀高原であれば、サッカー等のスポーツで多くの人を訪れます。「佐久にしかできないこ</p>

	と」が少ないと思います。
委員	平成 27 年度から始めているヒルクライムはいかがでしょうか。
委員	そこでお金を落としてもらって、還元してもらえればいいのですが。
委員	春日温泉の観光客入込数はどのような状況でしょうか。
事務局	春日温泉の観光客入込数ですが、県の観光地利用者統計調査によると、平成 26 年は 150,000 人、平成 27 年が 173,500 人と伸びています。
委員	珍しいところではヒカリゴケもありますよね。一番の問題は、観光バスが駐車できる場所がないことですが。
委員	企業と連携することはできないでしょうか。 従業員 50 人以上の企業ではストレスチェックをしなければならないので、小海町では森林セラピーを連携して実施しています。お金を落としてくれるところと連携できればいいと思います。
委員	宣伝方法にも問題があるのではないのでしょうか。
委員	臼田地区には、日本で二つしかない五稜郭もありますからね。桜の時期は観光客も大勢訪れますが、駐車場不足の問題があります。
部会長	今挙げたような場所を周遊できるよう、観光協会とも連携しアイデアを出していただければと思います。
部会長	それではよろしいでしょうか。 出された意見については、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。
	(異議なし)
部会長	それでは、事務局より次の説明をお願いします。
事務局	「工業」(P12) について説明

委員	工業団地ですが、計画的に早めに整備してもらいたいと思います。
委員	現在3ヶ所には絞られています、今年中には決まるという話ですよ。
事務局	はい。年内には決めたいという方向で進めています。
委員	地域全体の活性化という点では、一極集中型ではない、全体にとっていい方法を選択していただきたいと思います。街の中だけでなく、山間部の整備も進めなければ、なかなか発展していきません。そのためにも、アクセス道路の整備は絶対に必要だと個人的に考えますし、行政側にも努力していただきたいと思います。
事務局	企業ニーズや分譲単価も踏まえ、検討させていただきます。
委員	実際に、健康長寿に結びつく製品開発の実績はありましたか。
事務局	佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価報告書、10ページに記載してございますが、平成28年度実績としては2件ありました。1つ目は、プレパレート自動染色・封入システムユニットという、病理検査で使う医療機器の開発がありました。2つ目は、ナノ化技術を使用したディフューザー、空間の除菌・消臭等を行う装置の開発がありました。 また、佐久商工会議所の会員の方々に構成される、佐久ものづくり研究会の「チームZERO」さんでは、生涯寝たきり「0（ゼロ）」を目指し、健康で長生きするための商品開発を行っています。
部会長	それではよろしいでしょうか。 出された意見については、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。 (異議なし)
部会長	それでは、次の説明をお願いします。
事務局	「就労・雇用」(P13)について説明

委員	<p>これまでも臼田地区や中込地区に新しい企業が来ましたが、そこで新たに雇用された従業員のうち、市内居住者の割合を教えてください。</p> <p>臼田地区の企業では全てがオートメーション化されており、ほとんど従業員がいないと聞いています。</p>
事務局	<p>臼田地区の企業と言いますと、離山南工業団地の太洋化学工業株式会社と株式会社理研オプテック、丸金パイプ株式会社のことでしょうか。</p> <p>離山南工業団地のこれら企業の新規雇用者のうち、市内居住者の割合ですが、新規雇用者数は、太洋化学工業株式会社が 12 人、株式会社理研オプテックが 5 人、丸金パイプ株式会社が 11 人。そのうち市内居住者数が、太洋化学工業株式会社が 5 人、株式会社理研オプテックが 5 人、丸金パイプ株式会社が 11 人全員。いずれも起業時の数字でございます。</p> <p>立地と雇用に対する補助金の交付要件として、佐久市に住所を有する方を一定数以上雇用する必要がありますので、全く市内居住者を雇わないことはないと思います。</p>
委員	<p>雇用があることは、人口の増加につながりとてもいいことなので、企業を積極的に誘致することで市も潤っていくのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>現在、市内の有効求人倍率も 1.7 を超えています。しかしながら、雇用のミスマッチという課題がありますので、引き続き解消に向けて取り組んでまいりたいと考えています。</p>
委員	<p>2つ目の目標について、インターンシップの実績 17 名が、少ない印象です。地域外の人にこれから住んでもらう必要性も考えれば少ない数字だと思います。</p>
委員	<p>東京など市内に住んでいない方等で、佐久市に就職してもらう、いわゆる U・I・J ターンの促進を図ることが大事だと思います。</p>
委員	<p>今年の就職活動の状況は急に厳しくなっています。</p> <p>そういった中で少しずつでも実績が増えているのは、努力の結果ではないかと思います。</p>
部会長	<p>それではよろしいでしょうか。</p> <p>出された意見については、部会の報告の中に意見として付記をお願いしま</p>

	す。
部会長	(異議なし) 事務局から他に何かございますか。
事務局	これまでいただいたご意見は、事務局において部会意見としてとりまとめ、後日委員の皆さんにお送りします。内容を確認していただき、お気づきの点があれば、お返しいただければと思います。

(2) その他

次回の全体会は11月の上～中旬位を予定。決まり次第改めて連絡。

今後は全体会でまとめたものを市長の方へ会長、副会長に答申をいただく。特別、審議が必要なものがなければこれで終了。

3 閉 会